

地域の文化を守る

ヨーロッパ

の自然公園

北海道支所

北方林管理研究グループ長

八巻 一成

今から遡ること百数十年前の1872年、圧倒的なスケールで広がる原生的自然を守るために、世界最初の国立公園がアメリカのイエローストーンに設立されました。その後、国立公園というアイデアは世界中に広がり、日本では国立公園を含む自然公園制度がつけられました。

日本の自然公園には3種類あり、世界自然遺産に登録されている知床や屋久島は国立公園に、ミシュランガイド三ツ星に輝く高尾山は国定公園に、日本三景の松島は県立自然公園に含まれています。日本の自然公園も、自然の織りなす風景の美しい地域が多いことから、それを楽しむ観光レクリエーション地域のイメージが一般的かもしれませんが、しかし地域の「文化」を守るためにも、自然公園は役立っているのです。

ヨーロッパに目を移しましょう。古くから開発が進んだヨーロッパ諸国では、わが国と同じく自然環境の多くが人為の影響を受けており、国土の隅々まで二次林や農地、草原な

写真1 南シュバルツバルト自然公園

どが広がっています。そうした人為的影響を受けた自然を保全するためには、地域で長年にわたって営まれてきた農林業を維持することが、とても重要な意味を持っています。

ドイツを例にみると、国土の大半を丘陵地域が占めており、そこでは森林や農地、草原が交錯する美しい景観が広がっています（写真1）。そうした美しい景観を求めて多くの人が観光やレクリエーションで訪れます。薪炭林や採草地として森林、草原を利用し続けることによって伝統的に維持されてきた風景は、地域固有の土地利用と結びついた文化的景観ともいえます。ドイツの自然公園はこうした地域のなりわいによって形作られてきた文化的景観を守るために指定されているのです。

同じように、ピーターラビットで有名なイギリスの湖水地方（写真2）や、イギリスを代表する田園風景が広がるコッツウォルズ地



写真2 レイク・ディストリクト国立公園



写真3 アブルッツォ・ラッツィオ・モリーゼ国立公園

域も、長年にわたって維持されてきた美しい景観を保全するために、自然公園に指定されています。イタリアの国立公園でもまた、人の手が加わった自然環境と歴史的町並みが見事に調和した景観が広がっています（写真3）。ヨーロッパでは文化的景観を保全することもまた、自然環境保全の重要な位置を占めると

いう認識が、国境を越えて共有されています。地域のなりわいが生み出す文化的景観の保全を通して、地域固有の文化を守ろうとするヨーロッパの自然公園は、原生的な自然を守ろうとするアメリカの国立公園とは対照的な、もうひとつの自然公園像といえるのではないのでしょうか。